

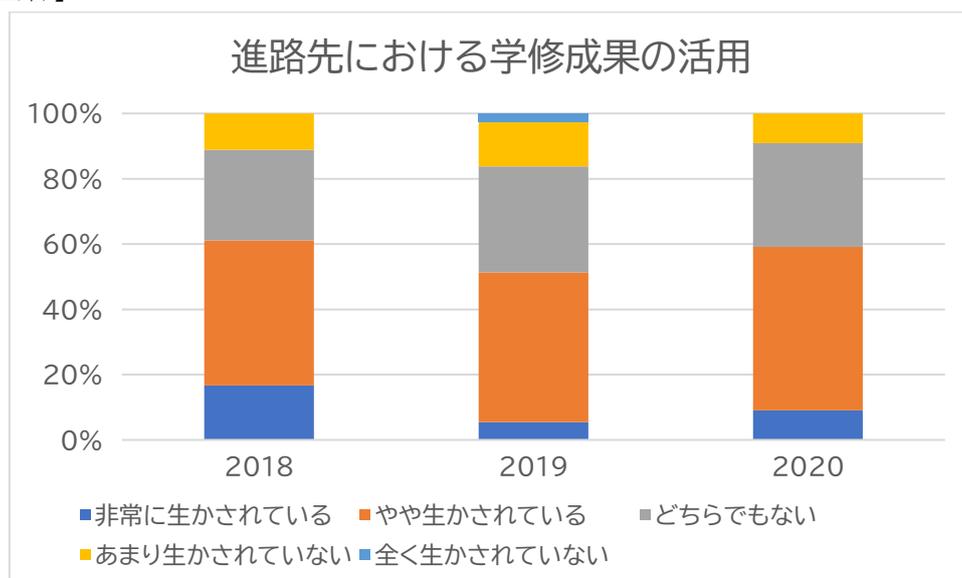
令和2年度卒業生調査結果概要

公益学部では、卒業後3年目を迎える卒業生を対象にアンケート調査を実施し、進路先において学修成果がどのように生かされているか等について、過年度との比較を行っている。

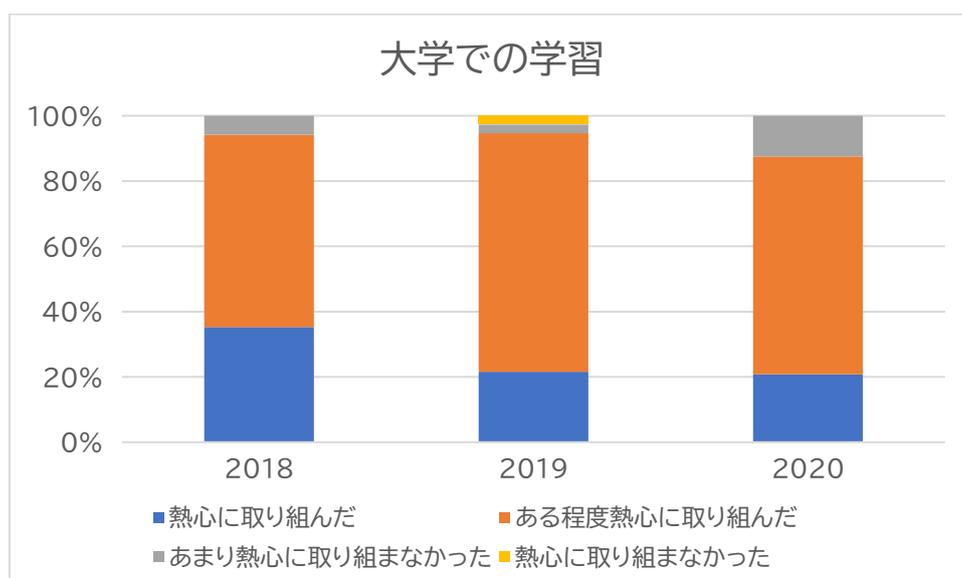
令和2年度（令和2年9月実施）では、134名に調査票を送付し、24名から提出があった。

以下、主要な項目について調査結果と分析を記す。

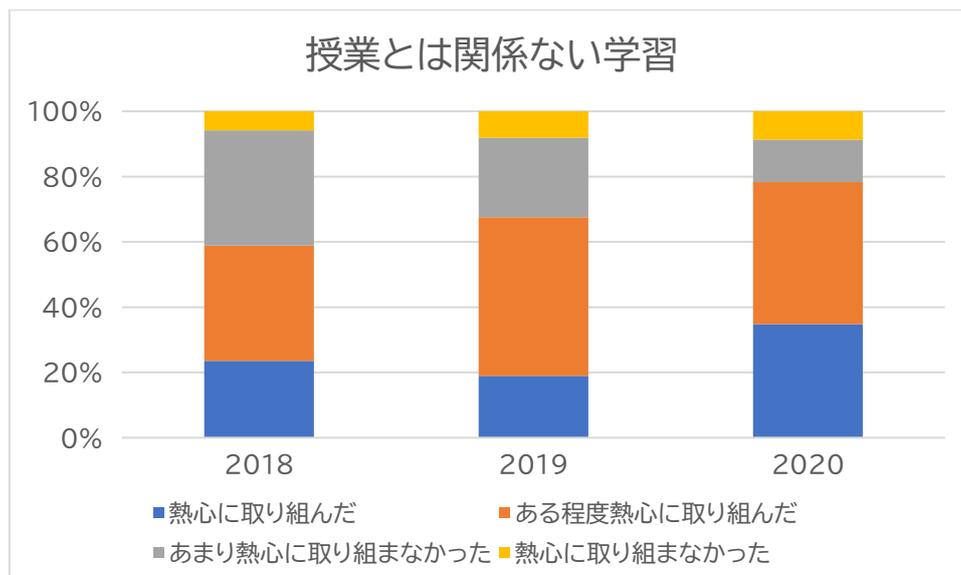
【マーク式回答】



「非常に生かされている」「やや生かされている」の合計が約60%まで上昇した。一方、「あまり生かされていない」「全く生かされていない」の合計は10%未満となっており、卒業後も本学での学びの成果が活用されていると評価できる。



「熱心に取り組んだ」の割合は前年度とあまり変わっていないが、「あまり熱心に取り組まなかった」との回答が10%を超えている。記述式回答の内容等から見て、もっと熱心に取り組んでいれば進路先において活用できる学修成果がさらに広がったと考えている卒業生が多いことが伺える。



「熱心に取り組んだ」「ある程度熱心に取り組んだ」の合計は、上記の「大学での学習」より低い点では従来と変わらないが、今回の調査では 80% 近くまで上昇しており、2 年前と比べて約 20% も上昇している。在学中に日本経済団体連合会から「採用選考に関する指針」が示され、その後また採用開始時期が変更になるなど、大学卒業生の就職活動に関する動きが大きかったことで、就職に備えて自主的な学習を進めたことが考えられる。

【記述式回答】

Q . 「具体的にどのような学習がどのような場面で生かされていますか。」

A1. 社会人になり、物事を客観的に考えたり、お客様ニーズがどこにあるか、それに仮設立てお客様に提案していく力が必要な仕事です。こういったことから今思えば、論理的思考力、情報収集力を身に着ける学習が私の仕事に生かされています。学習している時は、なかなかイメージができず、理解することが難しかったのですが、学習していてよかった、体験できて良かったと思います。

A2. チームで問題を解決していく、それを発表するという形の学習が、仕事での人との関わり方に生かされている。

A3. 座学も大切だったが、グループワークでは。それぞれの場面や人に合った話し方、対応の仕方など、実践形式で様々なことを学ぶことができた。

A4. 職種的に、読解力や情報を整理し、収集する力は生かされていると感じます。

(以上、実際の回答から 4 つを選んだ。)

今回卒業生調査の対象となった学年から新しいカリキュラムが適用され、「プロジェクト型応用演習」「競争型課題解決演習」など、より実践的に課題解決に取り組む科目が導入された。そのことが、上記 A2 や A3 の回答に反映されていると考えられる。また、A1 や A4 の回答からは、社会に出てから「論理的思考力」「情報収集力」「読解力」が生かされていることがわかるが、それをいかに社会に出る前の学生が理解できるように伝えるかという課題も示されている。